

令和6年度第4回大分県総合教育会議次第

令和7年3月13日（木）

16:00～17:00

県庁舎本館正庁ホール

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 令和7年度 教育の主要施策について

(2) 県と市町村が連携した文化財の活用による地域活性化及び誘客促進について

4 閉会

『安心・元気・未来創造ビジョン2024～新しいおおいたの共創～』の概要

時代の要請や潮流の変化

- 1 想定を上回るスピードで進む人口減少
- 2 多様性を認め合い共生・共創する社会への要請
- 3 地球環境問題の深刻化と自然災害の脅威
- 4 新興感染症対策と社会経済活動の両立
- 5 産業を取り巻く環境の劇的な変化
- 6 デジタル社会の進展と加速する先端技術の活用

計画策定の基本的な考え方

- これまでの成果の「継承」と新たなステージへの「発展」
 - ・前計画「安心・活力・発展プラン2015」における成果を継承しつつ、「時代の要請や潮流の変化」を読み取った上で必要な政策・施策を見定め、変化を恐れず、明日の大分県を新たなステージへと発展させていく道標として策定
- 県民の声、思いをカタチに
 - ・策定県民会議をはじめ、市町村長や地域住民、関係団体、高校生など、多様な県民の声を伺い、課題の一つひとつに向き合いながら策定。各施策は、県民が望む10年後の姿を描いた上で、バックキャストの考え方で取組等を整理
- 「10年後のさらにその先」も見据えて
 - ・広域交通ネットワークの未来像や2050年のカーボンニュートラル実現に向けた挑戦など、10年後のさらにその先も見据えて、先手を打っていく施策も掲載

計画の性格

県行政の長期的、総合的な指針を示す最上位計画

計画の期間

令和6～15年度(10年間)
※ 中間年の令和10年度に見直しを実施

基本目標

○ 誰もが**安心**して**元気**に活躍できる大分県

○ 知恵と努力が報われ**未来**を**創造**できる大分県

主な取組

19政策 57施策 133指標

安心

7政策 24施策 49指標

- 1 災害対策・危機管理
 - ・県土強靱化、先端技術による高度化、早期避難の実現
 - ・能登半島地震も踏まえた対策(住宅耐震化、避難所の物資備蓄・空調整備、孤立集落対策等)の強化
 - ・感染症対策
- 2 環境保全
 - ・県民運動「グリーンアップおおいた」、おおいたグリーン事業者認証制度の推進
- 3 こども・子育て支援 ～子育て満足度日本一の実現～
 - ・こどもの健やかな育ちや“共育て”への支援
 - ・地域社会全体で子育てを応援する環境づくり
- 4 健康、医療・介護 ～健康寿命日本一の実現～
 - ・県民総ぐるみの健康づくり運動
 - ・医療提供体制の確保、地域包括ケアシステムの充実
- 5 障がい者支援 ～障がい者活躍日本一の実現～
 - ・障がい者自らの意志・希望、決定による“活躍”への支援
- 6 人権・共生社会
 - ・多様な価値観を認め合う社会づくり、NPOとの協働
- 7 治安・県民生活
 - ・良好な治安、安全・安心な消費生活、食育の推進

元気

7政策 16施策 42指標

- 1 農林水産業
 - ・農林水産業の成長産業化(園芸・畜産の生産拡大、循環型林業の確立、環境変化に対応した水産業への転換等)
- 2 中小企業・地域経済
 - ・中小企業の経営基盤強化、多様なスタートアップの創出・支援
 - ・ものづくり産業の「稼ぐ力」の向上、地域を支える商業の活性化
- 3 観光・ツーリズム ～世界に選ばれるおんせん県おおいた～
 - ・地域の特色を活かした多様なツーリズム、インバウンドの推進
 - ・自然、文化、環境の保全と両立した持続可能な観光地域づくり
- 4 海外戦略・外国人との共生
 - ・企業の海外展開支援と県産品の輸出促進
 - ・外国人に選ばれ、多文化が共生する大分県づくり
- 5 人材確保・育成
 - ・あらゆる産業の発展を支える人づくり、女性の活躍推進
- 6 芸術文化
 - ・県民誰もが芸術文化を享受できる機会の充実
 - ・創造性を活かした産業の高付加価値化や地域づくり
- 7 スポーツ
 - ・世界に羽ばたく選手の育成、プロスポーツチーム等の合宿誘致

未来創造

5政策 17施策 42指標

- 1 交通ネットワーク、企業立地・産業集積
 - ・高規格道路など、人や物の流れを活性化する広域交通ネットワークの充実
 - ・東九州新幹線や豊予海峡ルート構想の実現に向けた県民の理解促進、関係県等との連携や国への働きかけ
 - ・地域の暮らしを支える公共交通の維持・確保、利便性向上
 - ・時代の変化に対応した多様で魅力的な企業誘致の推進
- 2 移住・定住、地域づくり
 - ・本県の魅力により“選ばれる”移住・定住の促進
 - ・持続可能なコミュニティづくりによる地域の未来への継承
- 3 カーボンニュートラル・GX
 - ・2050年に向けた「グリーン・コンビナートおおいた推進構想」の実現
 - ・脱炭素化と持続的成長の両立(GX)に挑戦する事業者支援
- 4 DX・先端技術
 - ・あらゆる産業のDX、暮らしを支えるDX、行政DXの推進
 - ・先端技術を活用した新産業の育成と地域課題の解決
- 5 教育
 - ・遠隔教育システムなどの活用による、県内どの地域でも多様で質の高い教育を受けられる環境の整備
 - ・データやAIを活用した学びの個別最適化、いじめ・不登校対策の充実
 - ・大学等との連携による人材の育成・定着と地域の活性化

3つの基本姿勢

対話

連携

継承・発展

○ 年齢や性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合い、誰もがいきいきと活躍している「共生社会おおいた」を実現
○ 魅力・ブランド力が高まり、移住・定住や観光、企業進出、投資など、あらゆる分野で県内外から「選ばれるおおいた」

Contents 目次

計画の策定にあたって 1

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の性格・役割
- 3 計画の期間
- 4 計画の構成
- 5 計画策定の基本的な考え方

基本構想編 4

- 1 時代の要請や潮流の変化 5
 - (1) 想定を上回るスピードで進む人口減少 5
 - (2) 多様性を認め合い共生・共創する社会への要請 7
 - (3) 地球環境問題の深刻化と自然災害の脅威 8
 - (4) 新興感染症対策と社会経済活動の両立 9
 - (5) 産業を取り巻く環境の劇的な変化 10
 - (6) デジタル社会の進展と加速する先端技術の活用 11
- 2 基本目標 12

基本計画編 14

- 1 分野別政策の10年後の目指す姿 15
- 2 施策の展開 22

安心 基本方針3 22

1 災害に強い県土づくりと危機管理の強化 23	4 健康長寿社会の構築と安心できる医療・介護の提供 ~健康寿命日本一の実現~ 53
(1) 強靱な県土づくりの推進 23	(1) みんなで進める生涯を通じた健康づくり 53
(2) 大規模災害等に備えた防災対策の高度化 25	(2) 安心で質の高い医療の確保 55
(3) 「人的被害ゼロ」に向けた地域防災力の強化 27	(3) 高齢者が安心して暮らせる地域包括ケアの充実 57
【コラム】自然災害から県民の命と暮らしを守るために 29	
(4) 感染症流行への備え 31	
2 持続可能な環境づくりの推進 33	5 障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり ~障がい者活躍日本一の実現~ 59
(1) 地球温暖化の緩和と気候変動への適応 33	(1) 障がい者の希望や特性に沿った就労・自立支援 59
(2) 環境への負荷を抑えた循環型社会の構築 35	(2) 障がい者が安心して暮らせる地域生活の支援 61
(3) 豊かな自然の保全と活用 37	
(4) 環境を守り活かす担い手づくりの推進 39	
3 すべての子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくり ~子育て満足度日本一の実現~ 41	6 多様性を認め、互いに支え合う社会の構築 65
(1) 子育てしやすい社会づくりの推進 41	(1) すべての人の人権が尊重される社会づくり 65
(2) 結婚・妊娠の希望が叶い、すべての子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備 43	(2) 誰もが共につながり支え合う地域共生社会の実現 67
(3) 子どもまんなかまちづくりの推進 45	(3) NPOとの協働の推進と支援 69
(4) 児童虐待の未然防止・早期対応と社会的養育の推進 47	
(5) 様々な困難を抱える子どもたちへの支援 49	7 誰もが安全・安心に暮らせる社会づくりの推進 71
	(1) 良好な治安と安全で快適な交通の確保 71
	(2) 消費者の安心や生活衛生の向上と動物愛護の推進 73
	(3) 食の安全・安心の確保と未来へつなぐ食育の推進 75

基本方針2

基本方針②

元気 78

1 自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業 79	4 海外の成長を取り込み共に発展する大分県の実現 97
(1) 園芸・畜産の生産拡大を中心とした農業の成長産業化 79	(1) 企業の海外展開と県産品の輸出の促進 97
(2) 循環型林業の確立による林業・木材産業の持続的な発展 81	(2) 外国人に選ばれ、共生できる大分県づくり 99
(3) 環境変化に対応し豊かな海を次世代につなげる水産業への転換 83	5 誰もが自分らしく、いきいきと活躍できる社会づくり 101
2 力強く元気な経済を創出する産業の振興 85	(1) 多様な人材が活躍できる環境づくりと産業を支える人づくり 101
(1) 中小企業の経営基盤の強化とイノベーションの促進 85	(2) 女性が輝き活躍できる社会づくりの推進 105
(2) ものづくり産業の「稼ぐ力」の向上 87	6 芸術文化による創造県おいたの発展 107
(3) 地域を支える商業の活性化とサービス産業の革新 89	(1) 芸術文化を享受できる機会の充実 107
3 地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興 ~世界に選ばれるおんせん県おいた~ 91	(2) 芸術文化の創造性を活かした地域づくり 109
(1) 地域に元気をもたらす国内誘客・海外誘客(インバウンド)の推進 91	7 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進 111
(2) 住んでよし、訪れてよしの持続可能な観光地域づくり 93	(1) ライフステージに応じた県民スポーツの推進 111
【コラム】世界に選ばれる「おんせん県おいた」の魅力 95	(2) スポーツによる地域の元気づくりの加速 113

基本方針3

未来創造 116

1 未来へつながる交通ネットワークの充実と企業立地・産業集積の促進 117	4 デジタル社会の実現と先端技術への挑戦 139
(1) 人や物の流れを活性化させる広域交通ネットワークの充実 117	(1) 生産性・付加価値を高め県経済を発展させるDXの推進 139
【コラム】広域交通ネットワークの充実を目指して 119	(2) 県民の暮らしをより便利で豊かにするDXの推進 141
(2) 九州の東の玄関口としての空港・港湾機能の強化 121	(3) 先端技術を活用した新産業の育成と地域課題の解決 143
(3) 地域を支える交通ネットワークの充実 123	【コラム】県内各地で広がるDX・先端技術への挑戦 145
(4) 戦略的・効果的な企業立地と産業集積の推進 125	5 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造 147
2 地域の未来を担う人材の確保と魅力ある地域社会の形成 127	(1) 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進 147
(1) 「地域が輝く」移住・定住の促進 127	(2) 社会の変化に対応する教育の展開 149
(2) 持続可能なコミュニティづくりによる地域の未来への継承 129	(3) 安全・安心で質の高い教育環境の確保 151
【コラム】地域の課題解決に向けて取り組む団体 131	(4) 信頼と対話に基づく学校運営の実現 153
3 大分県版カーボンニュートラルの推進 133	(5) 大学等との連携による人材の育成・定着と地域の活性化 155
(1) 温室効果ガスの排出抑制と吸収源対策の強化 133	(6) 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 157
(2) 経済と環境の好循環を生み出すGXの推進 135	
【コラム】環境先進県おいたを目指して 137	

基本方針①

計画推進のために 160

1 県民の参画による計画の進行管理 161
2 計画推進を支える行財政改革の実行と地方分権の推進 161
3 持続可能な社会を目指して ~SDGsの実現~ 163

参考資料 168

大分県教育大綱

(案)

令和7年3月
大分県

○策定の趣旨

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、大分県の教育、芸術及び文化に関する方針を定め、知事と教育委員会が方向性を共有することにより、密接に連携して総合的に施策を推進していくことを目的に策定するものです。

本県では、平成27年に大分県教育大綱を策定し、当時の大分県長期総合計画の見直し等を踏まえ、令和2年3月に一部改訂しています。

今般、令和6年9月に新たな大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024～新しいおおいたの共創～」を策定したことから、長期総合計画の中から本県の教育、芸術及び文化に関する項目を整理し、新しい教育大綱として示しました。

○計画期間

大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024～新しいおおいたの共創～」との整合のため、令和7年度から令和10年度までの4年間とします。

○基本方針

以下の3つの基本方針の下、知事部局と教育委員会が相互に連携しながら、変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造のため、それぞれの役割と責任に応じ、施策に取り組んでいきます。

- 1 多様で質の高い学校教育の充実と生涯を通じた学びの支援
- 2 学校・家庭・地域の協働による教育・子育ての推進
- 3 地域を担う人づくりと活力ある地域づくり

○施策の方向性

県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024～新しいおおいたの共創～」に掲げる「10年後の目指す姿」の実現に向けて、3つの基本方針を踏まえ、取組を進めていきます。

【基本方針 1：多様で質の高い学校教育—保育の充実と生涯を通じた学びの支援—】

(1) 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進

◆10年後の目指す姿

- ・子どもたちが、確かな学力や豊かな心、健やかな体、変化の激しい社会を生き抜く力を身につけながら、それぞれの夢や希望に向かって意欲的に挑戦している。
- ・子どもがどの地域に住んでいても、遠隔配信の活用等により多様で質の高い教育を受けられる環境が整い、すべてのこどもの学びが保障されている。

[主な取り組み]

- ①確かな学力の育成
- ②豊かな心の育成
- ③健やかな体の育成
- ④幼児教育の充実
- ⑤高校教育の充実
- ⑥特別支援教育の充実



高等学校における遠隔授業

一人一台端末を活用した「総合的な探究の時間」

(2) 社会の変化に対応する教育の展開

◆10年後の目指す姿

- ・探究学習やSTEAM教育などの教科等横断的な学びを通じて、子どもが自ら課題を発見し、多様な人と協働しながら解決する力を身につけている。
- ・ICTを活用した学習を通じて、子どもが情報活用の実践力など社会の変化に対応する力を身につけている。
- ・子どもが、豊かな語学力と、世界の人々と新たな価値を創造し、主体的に社会の形成に参画できる力を身につけている。

[主な取り組み]

- ①イノベーションを担う人材の育成
- ②グローバル人材の育成
- ③主体的に社会の形成に参画できる人材の育成



グローバルリーダー育成塾

(3) 安全・安心で質の高い教育環境の確保

◆10年後の目指す姿

- ・些細ないじめも見逃さず、未然防止・早期発見・早期対応の徹底により、子どもが安心して学校生活を送っている。
- ・不登校児童生徒の個々の状況に応じ、ICTを活用した自宅での学習など学校以外でも質の高い教育を受けることができる。
- ・防災教育や通学時の安全を確保する取組などが進み、こどもの安全が確保されている。
- ・データやAIを活用した学びの個別最適化が図られ、子ども一人ひとりの状況に応じた質の高い教育が提供されている。

[主な取り組み]

- ①いじめ・不登校対策の充実・強化
- ②安全・安心な教育環境の整備
- ③DXの推進によるきめ細やかな教育の展開

(4) 信頼と対話に基づく学校運営の実現

◆10年後の目指す姿

- ・複雑化・多様化する学校の教育課題の解決に向けて、専門人材や関係機関と連携した「チーム学校」による組織的な取組が機能している。
- ・学校と家庭・地域が目標や課題を共有し、協働して教育活動を進め、こどもの学びと成長を地域全体で支える環境が整っている。
- ・教職員が子どもと十分に向き合いながら、社会の変化に対応した専門性と、主体的に学ぶこどもの力を引き出す指導力を向上させるとともに、学校における働き方改革が進んでいる。
- ・私立学校においては、各学校が特色を活かしながら、こどもの特性や能力・適性にきめ細かく対応した多様な教育が充実している。

[主な取り組み]

- ①学校マネジメントを活用した組織的な取組の推進
- ②教育指導体制の充実・強化
- ③魅力ある私立学校づくりへの支援



学校運営協議会（日出町立豊岡小）

(5) 大学等との連携による人材の育成・定着と地域の活性化

◆10年後の目指す姿

- ・県内所在の大学等の魅力が高まり、多くの進学希望者から選ばれている。
- ・学生が、実践型学修を通じて学びを深めるとともに、地域に活力を与え、地域課題の解決にも貢献している。
- ・AI・ビッグデータを活用するスキルやコストマネジメントの知識など、社会や企業のニーズを捉えて学んだ学生、学び直した社会人が県内に定着し、活躍している。
- ・大学等が持つ研究開発機能やシンクタンク機能を活用したスタートアップが創出されるなど、産業の発展が進んでいる。

[主な取り組み]

- ①県内外の大学やおおいた地域連携プラットフォーム等との連携強化と魅力発信
- ②県立大学等の魅力づくり

(6) 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

◆10年後の目指す姿

- ・県民がそれぞれの意欲や希望に応じて学習できる環境が充実し、生涯にわたって学び続けることができている。また、学んだことを活かして地域活性化や地域課題の解決に貢献している。
- ・学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもに多様な体験や学習の場を提供している。
- ・学校内外における多様な体験活動等を通じて、豊かな人間性や規範意識・社会性を身につけた健全で心豊かな青少年が育まれている。

[主な取り組み]

- ①生涯学び、活躍できる環境の整備
- ②地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
- ③健全で心豊かな青少年の育成



地域学校協働活動「田植え体験」

【基本方針2：学校・家庭・地域の協働による教育・子育ての推進】

(1) 子育てしやすい社会づくりの推進

◆10年後の目指す姿

- ・かけがえのない個性ある存在として、子どもが自己肯定感を持って健やかに育つことができている。
- ・地域社会全体で子育てを応援する態勢が構築され、子育て世帯が孤立することなく安心して子育てすることができている。

[主な取り組み]

- ①子どもの育ちと子育ての支援

(2) 結婚・妊娠の希望が叶い、すべての子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備

◆10年後の目指す姿

- ・周りの多くの人に支えられ、子どもの育ちや子育ての喜びを実感できている。
- ・障がいや難病等のある子どもが、安心して治療・療育を続けられ、自立や健全な成長のために必要となる支援を受けることができている。

[主な取り組み]

- ①きめ細やかな対応が必要な子どもと親への支援

(3) こどもまんなかまちづくりの推進

◆10年後の目指す姿

- ・子どもが元気に遊べる身近な遊び場や交流の場など、子どもがうれしい周辺環境が整っている。
- ・子どもが安全に安心して通行できる交通環境が整い、通学時事故ゼロが実現している。

[主な取り組み]

- ①子育てしやすい周辺環境の整備
- ②安全・安心な交通環境の整備



自転車歩行者道の整備状況（中津市）

(4) 様々な困難を抱える子どもたちへの支援

◆10年後の目指す姿

- ・貧困やヤングケアラーなど、困難な生活環境にある子どもへの支援が充実し、子どもの自己肯定感が高まり、自立につながっている。
- ・食事の提供だけでなく、学習支援や多世代交流など様々な機会を提供する子どもの居場所が充実し、地域で子どもを育てる環境が整っている。
- ・公的機関と民間団体等との相互連携や情報共有により、住民に身近な市町村において、ヤングケアラー等への支援体制が構築されている。
- ・ひとり親家庭の親子などが安心して生活できる環境が整っている。

[主な取り組み]

- ①子どもの居場所の確保・充実
- ②ヤングケアラー等への支援
- ③ひとり親家庭等への支援



こども食堂

(5) みんなで進める生涯を通じた健康づくり

◆10年後の目指す姿

- ・生涯を通じて、心身ともに健康で活力あふれる人生を送ることができている。
- ・県民誰もが無理なく、自然に、楽しく、健康的な生活習慣を身につける環境が整っている。

[主な取り組み]

- ①県民総ぐるみの健康づくり運動と社会環境の整備

(6) 障がい者が安心して暮らせる地域生活の支援

◆10年後の目指す姿

- ・障がいのある人もない人も相互に人格と個性を尊重しながら、誰もが住み慣れた場所で心豊かに暮らすことができている。
- ・障がい者が支援を受けるだけでなく、社会を構成する一員として自らの決定に基づき、地域での活動や芸術文化、スポーツなど社会のあらゆる活動に参画し、いきいきと活躍している。

[主な取り組み]

- ①障がい者支援サービスの充実

【基本方針3：地域を担う人づくりと活力ある地域づくり】

(1) 多様な人材が活躍できる環境づくりと産業を支える人づくり

◆10年後の目指す姿

- ・年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、あらゆる産業で多様な人材がいきいきと活躍している。
- ・多様で柔軟な働き方ができ、雇用の質や労働生産性が向上することで、あらゆる産業の企業が県内外の人材から就業先として選ばれている。
- ・産業振興を支える人材が育ち、誇りと将来の展望を持ってそれぞれの仕事に従事している。

[主な取り組み]

- ①多様な人材が活躍できる環境づくり
- ②若年層の県内就職の促進
- ③産業を支える人づくり



「dot.」での若年者の県内就職支援

(2) 豊かな自然の保全と活用

◆10年後の目指す姿

- ・ユネスコエコパークや日本ジオパーク、阿蘇くじゅう国立公園、世界農業遺産などの多様な地域資源が保全され、それらを活かした地域づくりが進んでいる。

[主な取り組み]

- ①ユネスコエコパークなど地域資源を活用した地域づくりの推進



おおいた豊後大野ジオパーク
原尻の滝（豊後大野市）

(3) 環境を守り活かす担い手づくりの推進

◆10年後の目指す姿

- ・環境問題に対する意識が高まり、県民一人ひとりが環境問題を自分のこととして考え、主体的に行動している。

[主な取り組み]

- ①“未来”につながる人材育成

(4) 「人的被害ゼロ」に向けた地域防災力の強化

◆10年後の目指す姿

- ・県民一人ひとりが、災害時に自分の命は自分で守る「自助」の意識を高め、早期避難行動をとることができている。

[主な取り組み]

- ①「自助」の意識向上



高校生、大学生が参加した防災座談会

(5) 芸術文化を享受できる機会の充実

◆10年後の目指す姿

- ・本県の芸術文化の発展を担う人材育成に向けて、こどもたちの豊かな感性や創造力が育まれている。

[主な取り組み]

- ①こどもたちの豊かな感性の育成



文化キャラバンによる
鑑賞機会の提供

(6) 芸術文化の創造性を活かした地域づくり

◆10年後の目指す姿

- ・地域の人々が、愛着をもって文化財・伝統文化を守り、継承するとともに、まちづくりや地域活性化に活かしている。

[主な取り組み]

- ①文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信



富貴寺大堂の実物大模型にCG映像を投影する様子（県立歴史博物館）

(7) ライフステージに応じた県民スポーツの推進

◆10年後の目指す姿

- ・年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、誰もがそれぞれのライフステージに応じて日常的にスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を営むことができる。
- ・スポーツ環境が整備されるとともに、高度な専門知識や指導技術を有する指導者が育っている。
- ・本県出身選手が、国民スポーツ大会をはじめとした全国大会やオリンピック、パラリンピックなどの国際大会で活躍している。

[主な取り組み]

- ①生涯にわたってスポーツに親しむ機会の充実
- ②県民スポーツを支える環境づくりの推進
- ③世界に羽ばたく選手の育成



総合型地域スポーツクラブでの
カヌーイベント

(8) スポーツによる地域の元気づくりの加速

◆10年後の目指す姿

- ・県内のプロスポーツチーム等による地域に密着した活動を通じて、県民がスポーツを身近に感じ、親しむようになっている。

[主な取り組み]

- ①プロスポーツの観戦機会の拡大と地域交流の推進



大分トリニータによる訪問交流

「教育県大分」創造プラン2025の概要

大分県長期教育計画（案）

計 画 の 性 格

「大分県長期総合計画」の教育部門の実施計画であり、当該部門の内容と合わせ、教育基本法第17条第2項に基づく「教育振興基本計画」

計画の期間

令和7年度（2025年度）～ 令和15年度（2033年度）〔9年間〕

1. 「教育県大分」の創造に向けて

◆教育改革の経緯

○教員採用選考試験等をめぐる不祥事(H20)を踏まえた、教育行政システム改革や学校改革

▷教員採用選考試験と管理職選考の見直し、人事管理システムの導入、教職員人事の一元化
▷校長のリーダーシップの下、全ての教職員が目標達成に向けて組織的に教育活動に取り組む「芯の通った学校組織」の構築 など

○学校における働き方改革や校務のデジタル化など、現代的課題に対応した改革



→ 学校の課題解決力の向上、学力や体力など**子どもの力の向上**

→ **教育を取り巻く時代の潮流も踏まえ**、これまでの取組の継続・深化とともに、**複雑・困難化する教育課題への的確な対応**が必要

◆時代の要請や潮流の変化

○人口減少や産業構造の変化に対応した**持続可能な社会の創り手の育成**

○**教育を通じた個人の幸せとより良い社会（ウェルビーイング）の実現**

○先端技術を活用した教育DXの推進

○多様性を認め合う誰一人取り残されない社会の実現

○発生が懸念される大規模自然災害や事件・事故への対応

基 本 理 念

変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造

⇒ 全ての子どもたちが、変化が激しく将来の予測が困難な社会を生き抜くことができるよう、「大分県長期総合計画」に基づく**7つの基本目標**の下、**20の施策**を計画的・総合的に推進

※子どもたちに、学力や体力に加え、未来を切り拓く意欲やグローバルに活躍する力などを総合的に育むことにより、一人一人の豊かで幸せな人生の実現と、主体性や創造力などを備えた持続可能な社会の創り手の育成を目指す

⇒ 基本理念の実現に向け、全施策を貫く**重点視点**として「**『リアル×デジタル』の最適な組合せによる教育効果の最大化**」を設定

※1人1台端末やAIなどの先端技術を積極的に活用し、リアル（対面による授業や体験活動）とデジタルを適切に組み合わせることにより教育効果の最大化を目指す

◆施策の総合的推進のために必要な視点

○人権教育

○インクルーシブ教育

○持続可能な開発のための教育（ESD）

○グローバル人材育成

○誰一人取り残されない学びの実現

○学校における働き方改革

○県民総ぐるみの教育

2. 施策（主な内容）

学校教育

基本目標1 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進

①確かな学力の育成

- ・学習にかかる個別の支援や1人1台端末を活用した家庭学習の充実
- ・問題解決的な展開による学習活動の充実、ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善
- ・経験の浅い教員への支援等を通じた授業力向上



0-laboにおける
子どもの科学体験活動

②豊かな心の育成

- ・教育活動全体を通して取り組む道徳教育・人権教育の推進
- ・デジタル社会に対応した読書環境の整備、小・中学生向け科学体験活動の充実

③健やかな体の育成

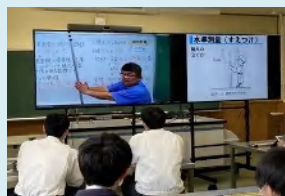
- ・より良いスポーツ環境の確保・充実に向けた運動部活動の地域移行の推進
- ・感染症への早期対応の徹底など学校保健の充実
- ・望ましい食習慣の確立に向けた、家庭・地域との連携・協働による食育の推進

④幼児教育の充実

- ・幼・小の円滑な接続に向けた架け橋期の教育の充実、関係機関との連携・協働による切れ目のない支援

⑤高校教育の充実

- ・スクール・ミッション、スクール・ポリシーに基づく資質・能力の育成
- ・遠隔教育の「大分モデル」等、次世代型の教育システムの構築、魅力・特色ある高校づくりの推進



高校における遠隔授業

⑥特別支援教育の充実

- ・障がいの有無にかかわらず、共に学ぶことができる環境整備の推進
- ・一貫した教育的支援や、社会的・職業的自立に向けた個別的教育支援計画の作成促進

基本目標2 社会の変化に対応する教育の展開

①イノベーションを担う人材の育成

- ・先端技術の活用など教科の枠にとられない横断的な学びの充実
- ・DXハイスクールやSSHを核としたデータサイエンス等を活用する力の育成
- ・ICTを活用した主体的に学習できる環境の構築、産業界や高等教育機関等との連携

②グローバル人材の育成

- ・世界で活躍する人材に触れる機会の充実、訪日教育旅行団との学校間交流
- ・郷土学習等による大分や日本への深い理解の推進、小中高を通じた英語4技能の育成

③主体的に社会の形成に参画できる人材の育成

- ・実社会や実生活の課題を主体的にとらえ、考え、行動することで解決する力を育む、教科等横断的な学習の推進
- ・各学校段階を通じた系統的・体系的なキャリア教育の充実、起業体験活動の推進
- ・教育活動全体を通じた主権者意識の涵養



産業界との連携による
インターンシップ

④DXの推進によるきめ細かな教育の展開

- ・1人1台端末の着実な更新、AIドリル等のデータを活用した個別最適な指導の充実
- ・先端技術の利活用による創造性を育む学びや校務の効率化



アバター操作体験及び
水族館体験学習

基本目標3 安全・安心で質の高い教育環境の確保

①いじめ・不登校対策の充実・強化

- ・日常的な挨拶や声かけなど子どもの成長・発達支援を通じた未然防止の徹底
- ・1人1台端末を活用した子どもたちが抱える不安や困りの早期認知・早期対応
- ・補充学習教室やICTの活用による学習など個に応じた効果的な支援の充実

②安全・安心な教育環境の整備

- ・デジタル技術を活用した安全教育の実施、外国籍の子ども等の学びの充実
- ・ヤングケアラーや貧困など困難な家庭状況に左右されない学びの保障に向けた、関係機関との連携強化

基本目標4 信頼と対話に基づく学校運営の実現

①学校マネジメントを活用した組織的な取組

- ・学校評価との連動による、教育目標等の達成に向けた組織的・継続的な検証・改善
- ・学校・地域の目標の達成や課題の解決に向けた学校・家庭・地域の協働

②教育指導体制の充実・強化

- ・優れた教員の確保に向けた、高校生に対する教職の魅力発信や意欲喚起
- ・先端技術を活用した業務効率化、学校部活動の地域移行の着実な推進

2. 施策（主な内容）

社会教育

基本目標5 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

①生涯学び、活躍できる環境の整備

- ・ライフステージに応じた学びなど多様な県民ニーズに対応した学習機会の提供
- ・成長分野における人材育成など、大学等との連携による実践的なリカレント教育の充実
- ・デジタル技術を活用した個人の学習履歴の可視化とその活用に向けた取組の推進

②地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

- ・地域コミュニティの活性化に向けた子どもの学びの支援への地域人材の参画・協働の促進
- ・子どもの文化・スポーツに親しむ機会の確保に向けた環境の整備充実
- ・家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組む企業等への啓発



放課後・休日の子ども体験活動（陶芸教室）

文化財・伝統文化

基本目標6 文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

①文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

- ・文化財・伝統文化の保存に向けた、デジタル技術やネットワーク技術の活用
- ・保存技術講習やデジタル映像化等を通じた後継者の育成
- ・ウォーキング・ツアーやフォトコンテストなど魅力を体感できる機会の充実



おおいた文化財ずかん

スポーツ

基本目標7 ライフステージに応じた県民スポーツの推進

①生涯にわたってスポーツに親しむ機会の充実

- ・県民すこやかスポーツ祭など多世代の県民が参加できるスポーツイベントの充実
- ・専門人材を活用した健康相談機能の充実、健康経営事業所認定制度を活用した事業所ぐるみの健康づくりの推進
- ・よりよいスポーツ環境の確保・充実に向けた、地域スポーツクラブの活用



総合型地域スポーツクラブ活動（大分川カヌー体験）

②県民スポーツを支える環境づくりの推進

- ・プロスポーツチーム等の地域資源の活用によるスポーツに親しむ機運の醸成
- ・専門性のある質の高いスポーツ指導者の養成・確保

③世界に羽ばたく選手の育成

- ・優れた資質を有するジュニア選手の発掘に向けた競技体験機会の充実と一貫指導体制の構築
- ・動作分析や選手のコンディション情報の把握など、強化活動におけるICT活用の推進
- ・優秀選手と県内企業のマッチング支援など安心して競技を続けられる環境の整備



競泳（平泳ぎ）渡辺一平選手（TOYOTA）
@picsport_japan

3. 計画の進行管理

◆計画の進行管理

- 本計画の施策ごとに、毎年進捗状況や課題等を整理
- 有識者による計画の進捗状況等に関する審議（大分県長期教育計画委員会）
- 教育委員会が点検・評価の総括を行い、報告書を決定（県議会に報告）
- 翌年度の県教育委員会の重点方針・取組等に反映

◆大分県長期教育計画委員会

- 学識経験者や保護者代表等の外部有識者で構成
- 大分県長期教育計画の策定（見直し含む）
- 当該計画に基づき推進する施策の達成状況の検証

令和 7 年度 一般会計当初予算案

教育主要施策（教育庁）

（単位：千円）

	事業名	7年度 当初予算案	6年度 当初予算額	事業概要	所管課
未来創造	遠隔教育システム構築事業	62,237	100,855	どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばし、多様で質の高い高校教育を提供するため、遠隔授業等を実施する。 【特】遠隔教育配信センター(大分上野丘高校内)からの遠隔授業の実施(4校) 実施校 白杵、佐伯鶴城、日田、宇佐 科目 数学、英語(7年度は2年生のみ、8年度は2、3年生) 【特】令和8年度遠隔授業受信校の環境整備(8校) 実施校(予定) 高田、国東、杵築、別府鶴見丘、竹田、玖珠美山、 中津南、安心院 【特】夏休みなど長期休業中における特別授業の実施(26校) 実施校 県内全ての普通科設置校 など	高校教育課
新 未来創造	県立高等学校ICT機器整備事業	1,449,459	0	県立高校のICT教育環境の充実を図るため、更新時期を迎える県立高校生徒1人1台端末(タブレット)を整備する。(3学年分)	教育デジタル改革室
未来創造	STEAM教育推進事業	30,848	30,196	先端技術分野で活躍できる人材を育成するため、生徒や教員のデータサイエンス力の向上を図るとともに、生徒が宇宙やエネルギー分野に興味を持ち、挑戦意欲の醸成につながる講座等を実施する。 【新】企業や大学の研究者と連携した探究活動の実施 など	高校教育課
未来創造	おおいたグローバルリーダーズ育成事業	51,176	35,333	グローバル人材を育成するため、小中高一貫した人材育成推進モデルを構築するとともに、オンライン上で世界に触れる機会を創出する。 ・国内外の大学と連携したオンライン講座等の実施 【特】スタンフォード大学視察プログラムの充実 【特】MOU(基本合意書)締結先等と学校間の交流に必要な海外渡航費等の支援 【特】AI英会話システム活用による授業モデルの構築 など	高校教育課
特 未来創造	いじめ・不登校等対策事業	115,142	102,147	いじめ・不登校等の未然防止や早期発見、伴走支援を行うため、相談体制を強化する。 【特】小学校における登校支援員の新設(17人) 【特】中学校における登校支援員の増員(48人→54人) など ※登校支援員…校内教育支援ルームで学習支援等を行う職員	学校安全・安心支援課
特 未来創造	フリースクール連携強化事業	8,708	0	フリースクールに通う不登校児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図るため、県が認証したフリースクールの利用料を助成する。 ・対象 住民税非課税世帯等 ・補助率 市町村補助額の1/2 限度額 1.5万円/月 など	学校安全・安心支援課 学事・私学振興課

令和7年度 一般会計当初予算案

教育主要施策（教育庁）

（単位：千円）

	事業名	7年度 当初予算案	6年度 当初予算額	事業概要	所管課
特	未来創造 県立夜間中学開校準備事業	20,983	0	<p>様々な事情で十分な教育を受けられなかった方の義務教育の学び直しのため、令和8年4月開校に向け、就学環境の整備や入学者説明会等を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 大分県立爽風館高校内 ・対象者 県内居住の15歳以上で中学を卒業していないもしくは卒業しているものの十分な学びを受けられず義務教育の学び直しを希望する方（国籍不問） 	義務教育課
特	未来創造 教員確保対策事業	12,728	0	<p>教員を安定的に確保するため、SNS等を活用した教職の魅力発信に取り組むとともに、教員採用試験の見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR動画の制作やWeb広告等による情報発信 ・県外試験会場の新設（東京、福岡）や受験資格の大学3年生への拡大 など 	教育人事課
	未来創造 学校部活動改革サポート事業	103,197	74,896	<p>教員の部活動指導の負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置するとともに、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、部活動の地域移行等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員 151人（公立中学校135人、県立高校16人） ・各市町村におけるコーディネータを活用したモデル事業の導入支援 など 	体育保健課
	未来創造 県立学校施設整備事業	5,844,196	5,126,839	<p>教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の新增改築・大規模改造など県立学校の施設や設備の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次特別支援計画に基づく施設整備（南石垣支援学校の移転等） ・大規模改造（大分豊府高校など5校） ・エレベーター設置（大分商業高校など6校） ・県立学校体育館の空調設備整備（中津北高校など21校） <p>【新】県立夜間中学施設整備 など</p> <p>〔債務負担行為 2,733,366千円〕</p>	教育財務課

令和7年度 一般会計当初予算案

教育主要施策（知事部局）

（単位：千円）

	事業名	7年度 当初予算案	6年度 当初予算額	事業概要	所管課
安心	ヤングケアラー等支援体制強化事業	29,606	45,232	<p>ヤングケアラー状態にある子どもを早期に発見し支援につなげるため、市町村の相談支援体制と地域での見守り機能を強化する。</p> <p>【特】市町村が実施する記名式実態調査経費に対する助成 補助率 1/6（国1/2補助への上乗せ）</p> <p>【特】市町村が実施するコーディネーター配置経費に対する助成 補助率 1/6（国1/2補助への上乗せ）</p> <p>【特】ヤングケアラーの悩みの共有・相談・交流を行う居場所の提供（3か所）</p>	こども・家庭支援課
安心	こどもの虐待防止ネットワーク強化事業費	12,198	9,607	<p>児童虐待の防止、早期発見・早期対応をさらに推進するため、児童相談所の体制強化やネットワーク体制の強化等を図る。</p> <p>◎児童相談所の体制強化 ◎ネットワーク体制の強化 ◎児童福祉司等の法定義務研修 ◎児童福祉施設基幹的職員養成研修</p>	こども・家庭支援課
安心	児童相談所施設整備事業費	219,339	156,764	<p>増加する児童虐待への対応を強化するため、児童福祉司等の増員に伴い狭小化した児童相談所執務室等を改修するとともに、一時保護所の環境改善（居室個室化等）を行う。</p> <p>◎児童相談所の環境改善 ・執務室の増床等（城崎分室、中津見相） 児童福祉司等の増員に対応するワンフロア執務室の整備</p> <p>◎一時保護所の環境改善 ・居室の個室化 法令に沿った個室処遇実現のため、新たに個室を8室設置し、現行の2人部屋を個室として活用 ・夜間等緊急居室の設置等 夜間緊急保護部屋や感染症発生時の隔離部屋、ジェンダーアイデンティへの配慮が必要な子どもの居室等に活用</p>	こども・家庭支援課
元気	特 人材確保総合推進事業	236,913	0	<p>産業人材の確保と若者の県内就職を促進するため、人材確保総合支援拠点「おおいた産業人財センター」を移転し、県内企業と求職者のマッチング支援機能を強化する。</p> <p>・移転場所 大分駅ビル「アミュプラザおおいた」（9月予定） 若者と企業の交流拠点の設置 企業支援部門の新設 など</p> <p>〔債務負担行為 259,868千円〕</p>	産業人材政策課
元気	特 若年者県内就職促進事業	61,993	0	<p>高校生・大学生の県内就職を促進するため、進路決定プロセスに応じた県内企業とのマッチングイベントを開催するとともに、企業の人材確保を支援するための情報発信等を行う。</p> <p>・進路決定段階に応じた理系学生と企業との交流機会の創出 ・U I J ターン希望者に対する県内就職に向けた面接等に要する経費への助成 限度額 交通費 1～4万円 宿泊費 1万円/泊 など</p>	産業人材政策課
未来創造	私立高等学校ICT機器導入支援事業	68,738	29,267	<p>私立高校の特色を生かしたICT教育環境の充実を図るため、1人1台端末（タブレット）の導入等に対し助成する。</p> <p>【新】学校整備 補助率 2/3（国直接補助3.6万円/台に1.4万円/台を上乗せ）</p> <p>・個人購入 住民税非課税世帯等 限度額 5.9万円/台（1.4万円/台を加算） 【新】その他の世帯 限度額 1.4万円/台 など</p>	学事・私学振興課

県と市が連携した文化財の活用による地域活性化及び誘客促進について

- ▶ 個別の文化財の保存・活用の取組から、テーマのもとに県と市町村が連携した取組による一層の地域活性化や誘客促進
- ▶ 地域資源や観光素材としての文化財活用に向け、文化財部局と観光部局等の関係機関の連携強化



▶ 大友宗麟生誕500年(令和12年)を契機とした県と市が連携した文化財の活用による地域活性化や誘客を促進

近年の取組

文化財の新たな魅力創造や活用による地域活性化や誘客の促進

- ①修復現場公開による誘客促進 (H22~H27)
 - ・国宝宇佐神宮本殿の修復など (H22~H27 延べ43件 39,231人)
- ②文化財をつなぐ活用の推進 (H28~)
 - ・日本遺産の認定 (3件)
 - ・地域計画の認定 (6市)
- ③宇佐神宮御鎮座1300年による取組 (R6~)
 - ・歴史博物館が宇佐神宮と関連文化財をつなぐ展示やイベントを実施
 - 歴史博物館のセンター機能が重要
 - ・観光部局や宇佐市との連携を強化

先進事例の活用

【先進地の事例】

- ・福井県 一乗谷朝倉氏遺跡
 - 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会 (県、福井市、関係団体)
 - 直通バス運行事業
 - プロモーション・情報発信
 - 県庁全体で、文化資源や観光資源などとして活用する事業を実施



ラッピングバス (イメージ)

大友氏をテーマにした県・市の連携

大友氏関連文化財の現状◇と課題◆

- ▶ 市：遺跡（現地）の整備・活用
 - ・大分【大友氏遺跡・高崎山城跡】
 - ◇大友氏館跡の庭園公開
 - ◇FUNAIジュニアガイド
 - ◆建物復元等の整備
 - ◆発掘資料の公開施設
 - ・臼杵【下藤キリシタン墓地・臼杵城跡】
 - ◇臼杵城跡の国史跡指定
 - ◇臼杵っこガイド
 - ◆城跡等の整備と地域の活性化
 - ・津久見【大友宗麟墓】
 - ◇南蛮文化関連資料の収集
 - ◆資料の公開施設
- ▶ 県：【大分県府内大友氏遺跡出土品】
 - ◇BVNGO大友資料館での展示
 - ◆収蔵資料以外の重要文化財展示

広域連携・活用に向けた考え方

- ①県の展示や情報発信等のセンター機能強化が必要
- ②現地をつなぐ交通機関との連携
- ③子どもガイドの育成と交流の拡充



FUNAIジュニアガイド (大分市HPより)



臼杵っこガイド

文化財 ↓ 観光・地域活性化

県と市、文化財と観光の連携強化による地域活性化・誘客促進を推進

- 【文化財】
 - ・ライト・マニア両方のニーズに応える文化財の魅力提案
 - ・遺跡間をつなぐため、県の展示や情報発信等のセンター機能を強化
- +
- 【観光・地域活性化】
 - ・JRのラッピングによる広報
 - ・食や体験のあるプレミアム観光ルートの造成
 - ・大河ドラマ誘致をからめた取組



今後の方向性

地域活性化・誘客促進に向けた取組

- 知事部局と県教委の連携強化
- 県・市連携を推進するPT立ち上げ
- 地域資源や観光素材としての文化財活用や素材磨きの促進
- 連携のセンターとなる県埋蔵文化財センターを改修し、機能強化を図る。
- 子どもが関わる持続可能な体制づくり



ラッピング列車 (イメージ)

【宇佐神宮御鎮座1300年】

- ・宇佐神宮は全国4万600社あまりの八幡社の総本宮であり、令和7年に1300年を迎える。
- ・10年に1度の勅祭や能楽鑑賞会、流鏝馬など記念行事が予定

宇佐市・商議所等で構成する記念行事実行委員会を中心に実施される宇佐神宮関連イベント等を活用し、都市圏向け広報や県内広域周遊への取組を実施

1. 実行委員会の取組



(構成)宇佐市、宇佐市観光協会
宇佐商工会議所、宇佐両院商工会
宇佐神宮
オブザーバー:北部振興局

情報発信・受入環境整備

- 県内広報
(宇佐神宮御鎮座1300年を記念した新聞広報やテレビCM)
 - 記念品開発
(クリアファイルや御朱印帳など)
 - 宇佐駅～宇佐神宮のタクシー割引
 - 仲見世通りにWi-Fi環境を整備
 - 1300年にちなんだ食事メニューの開発
- ▶ 県北部振興局が総合補助金で支援・予定

記念行事等

- 将棋名人戦@宇佐神宮 5月
- 流鏝馬神事 10月
(夏越祭に加えて秋にも開催)
- 時代祭 10月予定
(奈良～平安～現在と様々な時代の衣装を纏い、神宮及び周辺をパレード)
- 勅祭 10月予定
(呉橋の一般開放や提灯行列など)

2. 大分県の取組

誘客

- ①交通事業者と連携した周遊につながる誘客キャンペーンの実施
 - ・関東エリア:歴史・文化に関心が高い中高年齢層をターゲットに航空券と宿泊施設がセットになった商品等の割引を実施し、本県へ誘客
 - ・関西エリア:自家用車で移動するファミリー層向けに、フェリー(さんふらわあ)利用時の乗用車運賃割引を実施し、本県へ誘客
- ②情報誌に特集ページを掲載
 - ・福岡県から日帰りで来るファミリー層向けに、福岡県のタウン誌等に大分県内のドライブコース等の特集を掲載
- ③OTA(楽天・じゃらん)を活用したプロモーションの実施
 - ・Webサイト上に1300年記念誘客ページを特設するほか、会員向けのメールマガジンを配信することで認知度向上・誘客を促進

広域周遊

- ④デジタルスタンプラリーによる周遊促進
 - ・宇佐神宮ゆかりの地など県内各自治体にチェックポイントを設置(八幡奈多宮、六郷満山など)
 - ・デジタルスタンプを集めた参加者にインセンティブ(抽選で県産品をプレゼント)を提供することで周遊を促進
- ⑤県内広域周遊バスツアーの実施
 - ・県内各地への周遊を促進するため、福岡・大分デスティネーションキャンペーンで好評を博した県内・福岡を発着とするバスツアーを実施(催行数拡大のため旅行会社を支援)

【教育庁との連携】

歴史博物館や宇佐神宮とゆかりのある寺社仏閣、文化施設との調整に向けた協力

議論していただきたいこと

- 文化財部局だけでなく、観光や商工部局等とどのような連携を行えば、文化財を県の地域資源として活かした地域活性化や誘客促進に結びつくか
- 文化財の保護と活用を持続可能な形で行うためにはどのような取組が求められるか